

## 園芸施設の積雪対策

### 事前準備は

- ・遮光ネットを被せている場合には撤去します。また、屋根被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突起物がないか確認します。
- ・電源配線の故障の有無を確かめておきます。
- ・筋違い、支柱等補強資材を準備、保管して置きます。豪雪警報（積雪警報等）があった場合は筋違い、支柱等を早めに取付けます。

### 雪が降り始めたら

- ・暖房機の設定温度を高め、内部カーテンを開き、温室内の温度を高め、屋根から放熱量を増し、雪の自然落下を早めます。
- ・屋根に雪が積もった場合には、速やかに雪を降ろすと同時に、ハウス間の除雪を行います。
- ・日照や風によって、屋根の北側、もしくは風下側に偏って積雪することのないよう速やかに雪降ろしを行います。
- ・屋根上の積雪はできるだけ早い時期に（雪がやんでからできるだけ早く）に除雪します。特にフィルムがたるみ、雪の滑落が進まない時は速やかに雪降ろしを行います。
- ・降雪後、軒下や周囲の除雪を行ない、滑落した雪圧による被覆材の破損を防ぎます。

（参考資料 J A全農 生産資材部 温室・ハウス保守管理の手引き）

### 園芸施設の多雪対策

- 1 降雪量の多い場合は、補助支柱を立てるなど、適当な対策を講じます。また、天窗・側窓は早めに閉めておきます。
- 2 特に多降雪の予報があった時は、暖房機を早めに運転し、自動カーテンを開いて温室内の温度を高めておきます。
- 3 外気侵入を遮断するため戸締りを完全にし、室温を保って雪の滑落を促進させる。この場合、カーテンは開いたままで暖めます。
- 4 雪が降り始めると同時に暖房を行なって、屋根部、谷部の融雪を促す。雪が降り出す前は寒さが一層厳しくなるので降り出す前に暖房を行なうと、降った雪が次々ととけるので、なお良い方法です。
- 5 降雪後、軒下や周囲の除雪を行ない、滑落した雪圧による被覆材の破損を防ぎます。

（参考資料 J A全農 生産資材部 温室・ハウス保守管理の手引き）